



つるがしましな 鶴ヶ島市内から **ありがとう** の声 **こえ** が届いています！



愛ちゃんと希望くん
©中央共同募金会

「赤い羽根募金・・・耳にするけど、どのように使われているの？」と思われる方も多いと思います。
鶴ヶ島市内での使い道や、実際に共同募金の助成を受け活動をしている団体からの**ありがとう**の声をご紹介します。



ふれあい・いきいきサロンのために（※助成団体：35団体）
高齢者や障がいのある方、子育て世代などが身近な場所に集い、食事や健康体操、おしゃべりなどを通じて楽しい仲間作りを行っています。



「とも」（鶴ヶ丘地域）

障害があっても高齢者でも、卓球を楽しみたい人の為、ボランティアと共に楽しい卓球練習をしています。今回の助成金では、練習用ボール、タイマー、熱中対策用の塩分タブレットや麦茶等を購入しました。心身ともに健康な活動をしています。



花を植える会（富士見地域）

公園に花を植え、水やり、肥料入れ等をして見回りをしています。サロン助成金をいただいたお陰で、冬の花（11月）を購入しました。その花が綺麗に咲き、公園を明るくしています。次回は、ホースを購入できたらと考えております。

サロン松ヶ丘らくらく健康麻雀（松ヶ丘地域）

助成金のおかげで会場費の大半を賄うことができ感謝しております。コロナ禍で退会者もおりましたが、会員の方がご近所の方に声かけをしていただき、何とか現状維持ができています。毎回楽しみにして参加してくれていますので、令和5年はさらに充実したものにしたいと考えております。



小・中・高校生の福祉の学習のために（※助成団体：14校）

福祉体験講座や高齢者等との交流など福祉教育・ボランティア学習を実施しています。

鶴ヶ島中学校より（ありがとうメッセージ ※一部抜粋）
生徒たちが福祉を考えこれから実践していく上で、本当に貴重な機会となりました。実際に接してみて初めて、正しく相手のことを理解し、適切に対応することができるということを生徒たちは実感できました。今回、福祉体験学習をするにあたり、各団体さんのご支援やご指導があり実現することができました。助成金をいただいて実施できたので、団体さん等にも安心して来校していただけたら、活動・発表で必要なものをご購入したりすることができました。



鶴ヶ島中学校の生徒たちが「福祉とは何か」を受講した様子（講師：鶴ヶ島市障害者支援ネットワーク協議会）

埼玉県内の社会福祉施設・団体のために

（※助成団体：県内276施設・団体）

県全体の福祉の向上のため、身近な社会福祉施設や団体等に助成しています。



災害時にボランティア等を支援するために

共同募金会は、毎年の募金実績額の3%以内の額を大規模災害に備え、「災害等準備金」として、積み立てています。

令和元年7月に発生した、台風第19号による県内被災地に設置されたボランティアセンターの運営費用や身近な社会福祉施設や団体等に助成されています。

